

会議録(案)

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和4年度 第5回
開催日時	令和4年9月27日(火曜日) 午後6時15分から8時00分まで
開催場所	田無庁舎5階 502会議室
出席者	出席：小澤委員長、笹川副委員長、五十嵐委員、篠宮委員、鈴木委員、高岡委員、中村委員、星委員、堀内委員、安田委員、山田委員、山辺委員、横森委員 欠席：平委員、井上委員 事務局：下田部長、和田課長、徳丸係長、藤野主査
議題	(1) 令和4年第4回男女平等参画推進委員会会議録の承認について (2) 第4次計画実績評価報告書(令和3年度)について (3) 男女平等参画に関する職員意識調査・実態調査について
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 令和4年度第4回男女平等参画推進委員会会議録(案) (2) 【資料1】第4次計画実績評価報告書(令和3年度)(案) (3) 【資料2】職員意識・実態調査調査票(案)の変更箇所一覧 (4) 【資料3】西東京市男女平等参画推進計画に関する職員意識・実態調査調査票(案) ※13ページ差し替え分添付 ・西東京市男女平等参画情報誌「パリテ」 ・安田委員提供「共同参画」7月号／内閣府男女共同参画局
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

【開会】

- 事務局：これより第5回男女平等参画推進委員会を開催する。
事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。
続いて事務局より配布資料を確認した。

(1) 令和4年第4回男女平等参画推進委員会会議録の承認について

- 委員長：議題の「(1) 令和4年第4回男女平等参画推進委員会会議録の承認について」、お手元にある会議録(案)を少しお読みいただき、ご意見を伺いたい。
(黙読)
- 委員長：時間になったので、ご意見のある方は発言をお願いしたい。
(意見なし)
異議なく承認された。

(2) 第4次計画実績評価報告書(令和3年度)について

- 委員長：事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局：報告書全体の確認ということで、これまでにご検討いただいた内容を反映している。新たに131ページに記載している【これからの課題】は毎年度の振り返りとしてのまとめになっている。132ページに記載している【中間評価】は計画の中間年度になることから今回のみの記載になる。どちらも事務局で文案を作成している。報告書については、10月から始まる市の次年度予算策定前に各課に報告書を配布するため、今回を委員会としての最終確認としたい。
(グループに分かれて資料の確認を行った。)
- 委員長：時間になったので、Aグループから順に話し合った内容と今後の修正の有無等について報告をお願いしたい。
- 委員：「6 これからの課題」と「7 中間年度における課題の整理」ということで、全体的にA評価が増えている。該当の課が担当していることに関してだけはきちんとできているのでA評価としているが、次の段階へのステップアップとして他の課との連携を今後の課題とし、目標達成への筋道をどのように立てていくのかを見える形で131ページの「これからの課題」、あるいは132ページの「中間年度における課題の整理」に反映してほしい。A評価が増えたからそれで良いということではない。
- 委員：課題には特に異議はない。「昭和」が強調されているのが気になったが、それだけ昭和という時代が象徴的な時代だったのだということに納得している。また、132ページの「中間年度における課題の整理」の中の「予算要求前の9月までに評価報告書を公表」というところで、男女平等参画における予算には、防災や子育て支援等が関連しているということを話した。「委員が一人の場合における男女比」では、男女の特性を活かした仕事が50%程度になると、スム

ーズに事が進むのではないかということ話をした。

○委員：131 ページ「これからの課題」の本文にある「もはや昭和ではない」という文言を今頃記載するのかという声があった。最初の段落は全体の前置きだと思うが、2段落目から「さて」と唐突に始まるので、この1段落目があるのであれば評価に入る前に西東京市の状況等のつなぎの文章がないと少し唐突に感じる。5段落1行目に「市内事業所」とあるが、次の行では「市内事業団体」とある。各々別のものを指しているのであれば、「～などの」と入れた方がよい。正確には事業所としてイメージされるものと事業団体としてイメージされるものは異なるもので、その連携が難しいこともよくわかるが、そこをどのように考えてこうした表記をしているのかを明確にしてもらえるとよい。132 ページの「7 中間年度における課題の整理」は、前ページの「6 これからの課題」を受けて、計画と評価の関係ということで、これまで行ってきたことがうまくまとめられている。本来は各課から出てきた前年度の評価で各担当課では翌年度のことを検討し、夏の間には予算や事業計画等を立てているはず。10月半ばの予算編成に間に合わせるための一助とするためには、報告書を9月に公表するということが重要であるため、明記されていることは良いと思った。しかし、次の「2 評価項目の見直しについて」に、一部の項目について、毎年評価を行わない、委員の任期ごとに評価を行うといった記述や、「3 検討段階の事業に対する評価について」の中では、5年という計画期間で実施している項目については評価をしないと記述がある。基本的にはいずれであっても課題があれば解消するために何かを行うといった記述になるため、記述しなくても良いということはある程度あり得ないと思う。通常、短期目標、中期目標、長期目標を立てるため、評価しなくても良いという年度もないはずである。小さなことでも毎年何かしら検討、評価したということはあるべきかと思う。

○委員長：その他にご意見のある場合は10月4日（火）までにメールで受け付ける。

○事務局：資料1について、83ページから107ページまで全体評価がすべて「D」になっているため、修正する。

(3) 男女平等参画に関する職員意識調査・実態調査について

○委員長：続いて、議題の(3)「男女平等参画に関する職員意識調査・実態調査について」事務局から説明をお願いしたい。

事務局から職員意識調査の最終確認のスケジュール等の説明を行った。

SRCから資料2「職員意識・実態調査調査票（案）の変更箇所一覧」、資料3「西東京市男女平等参画推進計画に関する職員意識・実態調査調査票（案）」を用いて職員意識・実態調査について説明を行った

(グループに分かれて調査票について議論した。)

○委員長：時間になったので、Cグループから順に報告をお願いしたい。

- 委員：2ページの間1の選択肢4は、市民意識調査と合わせるならば「答えたくない」ではないか。5ページの間11と間27について、周知も兼ねて市の女性職員の割合と市職員の女性管理職の割合を併記するのはどうか。職員と管理職でギャップがあるということはこの機会に市職員に認識してもらいたい。間11の選択肢「4 女性の方が男性よりも途中退職が多く、候補対象者が少ないから」について、途中退職そのものを理由にしてしまって良いのかと思った。13ページの間27について、回答者がどの数字を対象として答えれば良いのかわからない。これは市民意識調査も同様である。間26の設問形式のように、(1)～(3)で項目分けした方が、よりわかりやすいと思う。職員意識調査は市民意識調査を踏襲しているとのことだが、職員だからこそ聞けるような設問では課題への対応策などを自由記述として設けても良いのではないか。
- 委員：12ページの間27の上に「ここからは再びすべての方におたずねします。」と記載されているが、その前の11ページの間21の上にも入っているのでは不要かと思う。間27について、数字を3つ出され、職員の割合としては51.1%であるならば、「3 現状のままでいい」を選ぶ人が多いだろうという気がした。間11や間27のデータに加え、非正規職員の女性の割合も併記した上で尋ねるのはどうか。非正規職員の話は職員意識調査・実態調査の意図するところではないのかもしれないが、男女平等参画という視点から見ると、非正規職員における女性の割合が高いことや、処遇が良くないということは大きな問題となっている。例えば間27を問27-1として、「さらに非正規職員の女性職員の割合は何%となっています。それに対してどう思いますか。」といったものを問27-2として入れても良いのではないか。
- 委員：個別に修正、意見はないが、現実問題として、女性が管理職として働きたいと思ったときに、様々な現実的な問題が数多くあるといった話になった。それを解消するために必要な施策や、目指すべき社会をこのアンケートで把握するため、このアンケートの結果を元に具体的な施策が反映されてほしい。子育てが終わりもう一度働きたいと思ったときに、正規雇用できちんと給料をいただいて働ける制度や、男性が家事・育児に参加できるような働き方、そうしたものを目指せるような社会、西東京市になれるよう、アンケート結果をうまく使ってほしい。
- 委員長：ありがとうございました。追加でご意見がある方は10月4日までに事務局にメールでご意見をいただければ、反映できるものは反映する。確定版はメール等でいただけるのか。
- 事務局：メールでお知らせする。11月に調査を行い、集計結果を次回の2月の委員会で見ていただく。

(3) その他

- 委員長：それでは「その他」について、事務局より説明をお願いしたい。
- 事務局：次回の委員会は来年(2023年)の2月28日(火)、場所は確定次第連絡する。そこでは、それまでご議論いただいた調査結果の報告と、次期計画の大まかな骨組み(素案)をお示しできるのではないかと考えている。

委員より「共同参画 7月号」の案内があった。

事務局より西東京市の男女平等参画情報誌「パリテ」の説明があった。

- 委員長：それでは、令和4年度第5回男女平等推進委員会、これにて閉会とさせていただきます。
お疲れ様でした。また次回もよろしくお願いいたします。

【閉会】